

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)		*	*
		スーパー（企画担当）	・元号が変わる節目の月に当たり、消費が見込める。
		コンビニ（経営者）	・来客数が増えてきて客単価が上がっている。
		衣料品専門店（経営者）	・寒さも少し和らいでくるので良くなるとみられる。
		観光型ホテル（代表取締役）	・12～1月と宿泊者数は減っているが、2～3月は先々の予約状況をみると例年並みである。スポーツキャンプ関係者や旅行者、周遊旅行観光客の利用が多い月でもある。
		旅行代理店（マネージャー）	・春休みや、その先のゴールデンウィークなどの問合せも増えてきているので、少し良くなるのではないかと期待している。
		通信会社（営業担当）	・3月の学生を対象とした商戦期に入るので現在の好調な波を維持できれば良い結果が期待できる。しっかりと消費者のニーズを捉えることができれば可能と考えている。
		住宅販売会社（営業担当）	・消費税の引上げ前の建築相談が、来場組数含め増えてきている。
		コンビニ（代表者）	・安定して推移すると考えるが、ゴールデンウィーク10連休に関しては国内旅行客の減少が予想され、現在のような伸長は難しいと判断する。
		衣料品専門店（経営者）	・今月の年始めのセールは、例年になく暑い状況が続いた影響か、売上アップにつながっていない。月を徹して売上が上がらない状態が続いており、対処のしようがなく悩みどころである。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・春の繁忙期に向け慌ただしくなっていくが、販売量が例年と比べ大きく変わる要因は見当たらない。
		通信会社（サービス担当）	・景気はさほど良いとは感じられない。ユーザーも金をかけるところと絞るところを選択し、堅実に消費していくとみている。厳しい業界は相変わらず厳しいと感じている。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの予約状況は、平均すると前年並みで、大きな変化はない。
		住宅販売会社（代表取締役）	・建築相談件数は安定しているが、設計士や現場代理人並びに下請業者に限りがあり、大きく工事高を伸ばすのは難しい。むしろ現場によっては、契約工期の遅れにより、客から苦情を頂いている。
		百貨店（店舗企画）	・前年まで楽観的に先行きをみていたが、インパウンドの売上ダウンによる中国客の動きが今後どのような影響を及ぼすのか不安となっている。
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・スタッフが少ない中で、営業効率を上げて、客満足度と単価を上げる方向に動いているが、現実はなかなか前に進んでいない。	
	観光型ホテル（マーケティング担当）	・現段階の予約状況から推測される今後2～3か月後の客室稼働率は、前年同月実績を下回る見込みである。沖縄県の入域観光客数は依然好調ではあるものの、予約状況の伸びは弱い傾向は続いている。	
	×	商店街（代表者）	・全体的に小規模の飲食店が増えすぎて単価割れをしているような状況である。特に苦戦をしている衣料品関連では、安くしても売れないというジレンマがある。今後も大型店との対応等もあるが、個店では自助努力がなかなかできず、更に落ち込んでいく状況にあるのでは、との話がよく聞かれる。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-
		建設業（経営者）	・消費税の引上げを前に、新規の引き合い件数が増加している。
		輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島のホテルや量販店等の民需や、陸上自衛隊関連の工事等の官需も増勢だが、基地建設の突貫工事により骨材の生産が追い付かず、離島向けの出荷が抑制されている。しかしながら、今後の骨材生産会社の対応が期待される場所である。
		輸送業（経営企画室）	・消費税の引上げにおける直前年度末ということで、全体的に市場の購買意欲が上がるのではないかと推測される。また、県内大手総合スーパーの新店、新規コンビニエンスストアの進出などの要因から一部地域における賃金の上昇があり、景気向上につながるのではないかと予測される。
		食料品製造業（総務）	・米中貿易摩擦の影響、英国のEU離脱問題等、消費者心理に安心感がなく節約志向に向かいがちな雰囲気ではないか。

	窯業・土石製品製造業 (経営者)	・特に大きな変動はなく、横ばいの見通しである。
	広告代理店(営業担当)	・県内企業の販促活動は、テレビ、新聞、ラジオの主要メディアの出稿状況からみて、僅かながら減少傾向にあり、新規参入したホテル、IT企業などの県外企業の新たな需要に期待している。
	会計事務所(所長)	・事業者など消費、遊興費などの支出が抑制されているようにみられる。
	x	-
雇用 関連 (沖縄)		
	学校[専門学校](就職担当)	・新規求人が増え、選択肢が広がっている。
	人材派遣会社(総務担当)	・求人数は年度末の繁忙期に向けて例年同様増加していくが、季節要因の範囲にとどまるとみられる。
	求人情報誌製作会社(営業担当)	・これから春に向け求人数が増加すると予測する。
	求人情報誌製作会社(編集室)	・毎年3月は1年を通して最も求人情数が多い月になっているので、1月と同程度か若干増加すると予想している。4月は新人社員の入社もあり、求人は若干減ると思われる。
	学校[大学](就職担当)	・求人解禁を3月に控え、企業側からは早くも積極採用の動きがみられる。次年度も就職状況は好調を維持するものとみられる。
		-
	x	-